

## ◆奨励賞◆

### 十年後の自分と未来の予想

真土 小学校 五年

古澤 琶玖

ぼくは今十才だ。十年後には、二十才になっている。二十は大人だ。お母さんにやってもらっている事を自分でできるようにしていなければならぬ。まずは料理だ。お母さんの料理は全部おいしい。特にからあげ、ぎょうざ、プリンは最高だ。自分でも作れるようになりたい。学校の調理実習で料理を作る楽しさがわかったことがきっかけで、お母さんの料理の手伝いをするようになった。いつか、お母さんひでんのひみつのレシピをこっそりおそわって、家族みんなに料理を作ってあげたい。

ぼくは最近毎日イライラしている。理由はわからないがいろいろなことにはらたつのだ。姉や妹がうるさいし、お父さんにはぼくだけなぜかおこられる。お母さんには反抗期だと言われる。イライラしている時には、一人になって、静かに自分の好きなゲームや、動画を見ると、気持ちが落ち着く。妹とのケンカもイライラの原因だ。十年後には妹も十七才になっている。少しはケンカをしなくなっているだろうか。気持ちのコントロールができるような大人になりたい。

ぼくはしよる来の夢がまだ決まっていぬい。大学に行っているか、働いているかわからない。でもアルバイトはしているかもしれない。お金をかせぐことはとても大変だと聞いている。お父さんは毎日朝からばんまで家

族のために働いてくれている。ぼくもいつかお父さんのようにお金をかせげるような大人になれるようにきらいな勉強もがんばろうと思う。

十年後の日本はどうなっているだろう。最近のテレビでよくとりあげられている南海トラフ巨大地震。大きな地震にもたえられるような家がたくさんあったり、太陽の光で走る車がふえるのではないかと思う。そして、一人一人の災害にたいする意識を高めて、もし大きな地震がおこってもパニックにならず少しでもけが人や、死者をださないような日本になればいいと思う。